

平成30年度事業計画書

平成29年度は、低調だった中国経済が再び持ち直したことや、日本国内の消費も緩やかながら上昇に転じたことにより、各社の業績は、港湾荷役は勿論、物流事業、輸出入ともに好調で、通期予想を上方修正した会社が多く、堅調に推移をしました。さらに国内商船大手3社のコンテナ船事業が統合され、5月には伊勢湾で一つの港湾運営会社による一体的なコンテナターミナル運営の実現に向けた名古屋四日市国際港湾株式会社が設立、9月には国土交通大臣より港湾運営会社として指定を受けました。

平成29年の名古屋港は、世界経済の回復の追い風を強く受け、総取扱貨物量は1億9600万トンに達し、16年連続で日本一を堅持しました。また、貿易黒字は7兆円に迫る勢いとなり、日本の経済をけん引する頑張りをみせました。

平成30年の日本経済は、個人消費や設備投資も目覚ましい伸びは期待できないものの、緩やかな回復基調は続くと思われています。

このような中、当協会は、職員一人一人に限られた財源の中で、最大の効果を上げるための創意工夫を凝らすとともに、引き続き経費節減に努め、関係官庁並びに港湾関係団体、業界各位の一層のご理解とご協力を賜りながら、労働環境の向上、就労意欲の増進に努め、より良いサービスの提供、期待される港湾労働者の為の福利厚生事業を推進して参ります。

<重点事業>

当協会定款で定める事業を重点事業として、昨年度と同様、次のとおり実施します。

1 港湾労働者の生活の安定に資する事業

市街地から離れた荷役作業場所において、港湾労働者が安心して働くことができるように、必要な食事や物品の提供、休憩所の設置・運営等、当協会の根幹事業を実施します。

飛島埠頭にある名古屋港流通団地港湾労働者福祉センターにおきましては、空調設備をはじめ、食堂や駐車場の改修を進めて参ります。また、鍋田埠頭休憩所は男子トイレ等の改修工事を実施し、快適環境の創出に努めて参ります。

(1) 港湾労働者福祉センター等の管理運営

- ・名古屋港湾労働者福祉センター
- ・名古屋港金城埠頭港湾労働者福祉センター
- ・名古屋港流通団地港湾労働者福祉センター
- ・名古屋港鍋田埠頭港湾労働者福祉センター
- ・鍋田埠頭休憩所
- ・ガーデン埠頭福祉センター

(2) 岸壁休憩所の管理運営（13ヶ所）

(3) 港湾労働者用駐車場の管理運営

- ・金城埠頭駐車場
- ・名古屋港福利厚生会館駐車場

(4) 港湾労働者用住宅の管理運営

- ・潮風住宅

- ・鴨浦住宅

2 港湾労働者の健康維持増進に資する事業

港湾業務は危険な作業が多く、又、市街地から遠く、事故等に迅速に対応出来る施設として、港湾労働者、地域住民の健康管理を推進する事業を実施します。

(1) 臨港病院の管理運営

(2) 健康管理センターの管理運営

3 港湾労働者の自己啓発、余暇活動に資する事業

過酷な就労環境下で働く港湾労働者の方々が精神的、肉体的にもリフレッシュする場所、機会を提供し、労働者を側面から支援する事業を実施します。

(1) 保養施設の管理運営及び利用の斡旋、体育施設の管理運営

- ・きぬうら荘

- ・山海荘

- ・テニスコート

- ・シーパレス日港福

- ・プロミネント車山

- ・ハーベストクラブ浜名湖

(2) 各種レクリエーション大会の開催運営

- ・本部

- ボウリング大会、ウォーキング&スタンプラリー大会、フォトコンテスト

- ・衣浦支部

- テニス&バーベキュー大会、ボウリング大会、いちご狩り大会

- ・蒲郡支部

- ボウリング大会、潮干狩り大会、いちご狩り大会

- ・豊橋支部

- ボウリング大会、ソフトボール大会、釣り大会、メロン狩り大会、みかん狩り大会、いちご狩り大会

(3) 広報誌の編集・発行（年4回）

4 港湾労働者の労働災害防止に資する事業

危険の伴う荷役作業が多いことから、関係機関等と協力し、労働災害防止に寄与する事業を実施します。

(1) 労働災害防止活動

- ・名古屋港殉職者慰霊祭の斎行

- ・港湾貨物運送事業労働災害防止協会へ助成事業

(2) 労災補償協議会の運営

5 その他法人の目的を達成するために必要な事業

港湾労働者の文化・技能を継承する事業を実施します。

- ・名古屋市指定無形民俗文化財の筏師一本乗り大会の運営